

スポーツ指導 パワハラ防止

岩沼で講習会

スポーツ指導下のハラスメント防止を学ぶ岩沼市社会体育指導者講習会(岩沼市教委、市体育協会主催)が、市総合体育館で開かれた。

市内のスポーツ少年団や小中学校の指導者ら25人が参加。講師の松井陽子仙台大体育学部准教授がパワハラ



指導者講習会で講演する松井准教授

ラやセクハラになり得る事例を挙げ、「指導者と選手間のみならず、先輩と後輩、保護者と監督など誰に対してもハラスメントは起こりうる」と指摘。指導者が質問と傾聴のスキルを上げ、選手と円滑なコミュニケーションを取る大切さを強調した。

講習会は8日にあった。市体協の村井祐司理事長(78)は「熱が入って選手に強く当たる場面も現場でありがちだが、指導者は常に寄り添う姿勢で臨まないといけないと改めて勉強になった」と語った。